みやづ経済ダイジェスト

No．６８

２０２６年１０月

宮津商工会議所

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内５業種１２０社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を４半期毎に実施し、集計分析を行っております。
２０２６年７月から９月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】　２０２６年７月～９月

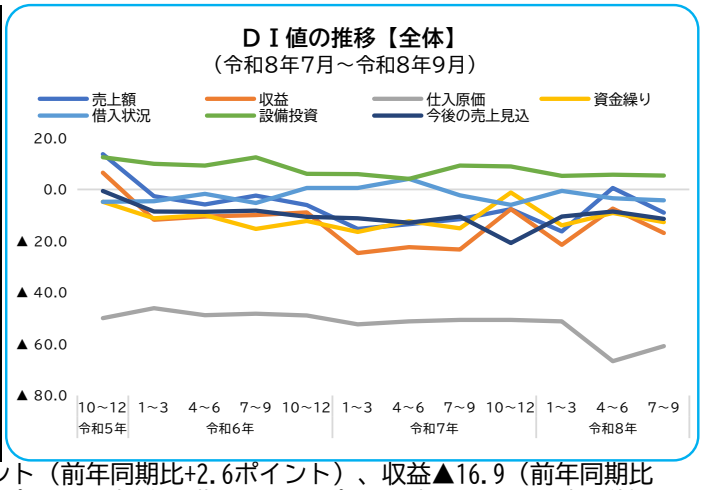
【調査方法】　建設業、小売業、卸売業、製造業、飲食・観光業の５業種、合計１２０社を対象にアンケートを実施。
（回答企業数８３社、回答率６９．２%）

【DI値の算出方法】①かなり増加等＝1、②やや増加等＝0.5、③不変＝0、④やや減少＝▲0.5、⑤かなり減少＝▲1とし、
(①+②)／全体数×100－(④+⑤)／全体数×100でDI値を算出する。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

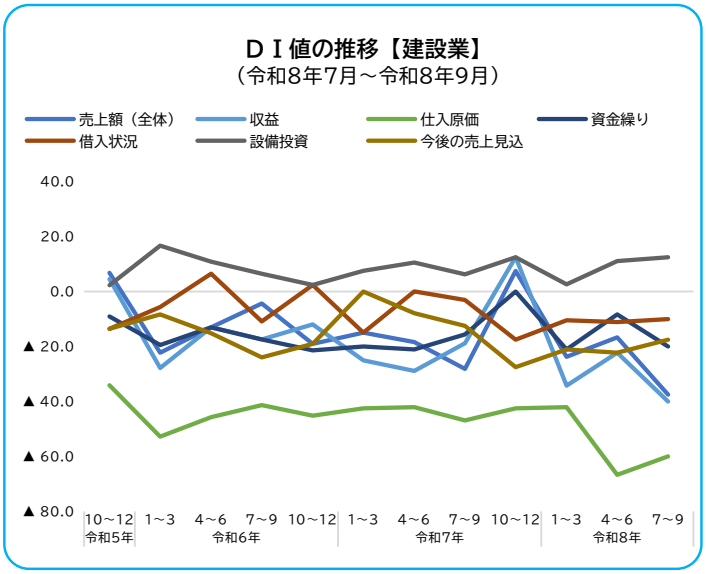
問１　今期の貴社の状況は、昨年の同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	3	25	20	24	11	減少	▲ 9.0
収益	増加	0	23	20	29	11	減少	▲ 16.9
仕入原価	低下	0	2	4	51	26	上昇	▲ 60.8
資金繰り	好転	1	4	55	19	4	悪化	▲ 12.7
借入状況	減少	0	6	66	9	2	増加	▲ 4.2
設備投資	増加	2	11	65	4	1	減少	5.4
今後の売上見込	増加	1	20	28	27	7	減少	▲ 11.4



全産業における2026年7月から9月のDI値は、売上額▲9.0ポイント（前年同期比+2.6ポイント）、収益▲16.9（前年同期比+6.4ポイント）とマイナス幅が縮小した。一方で仕入原価▲60.8ポイント（前年同期比▲10.2ポイント）とマイナス幅が拡大、高騰し続ける原材料、燃料価格の影響が窺える。また、現在直面している経営上の問題点では、「仕入価格の高騰」の回答が74.7%（62件）と各産業ごとの回答で最多の項目となり、仕入価格の高騰の影響が全産業に慢性的に及んでいることが窺える。

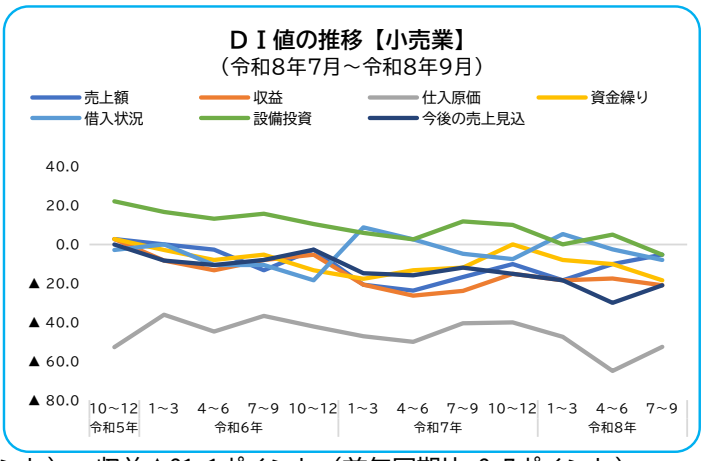
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	2	6	7	5	減少	▲ 37.5
公共工事(元請)	増加	0	2	2	5	2	減少	▲ 31.8
民間工事(元請)	増加	1	2	5	5	5	減少	▲ 30.6
下請工事	増加	1	3	6	2	5	減少	▲ 20.6
収益	増加	0	3	4	7	6	減少	▲ 40.0
仕入原価	低下	0	1	1	11	7	上昇	▲ 60.0
資金繰り	好転	0	1	11	7	1	悪化	▲ 20.0
借入状況	減少	0	1	15	3	1	増加	▲ 10.0
設備投資	増加	0	5	15	0	0	減少	12.5
今後の売上見込	増加	1	4	6	5	4	減少	▲ 17.5



＊公共工事なし9件、民間工事なし2件、下請工事なし3件

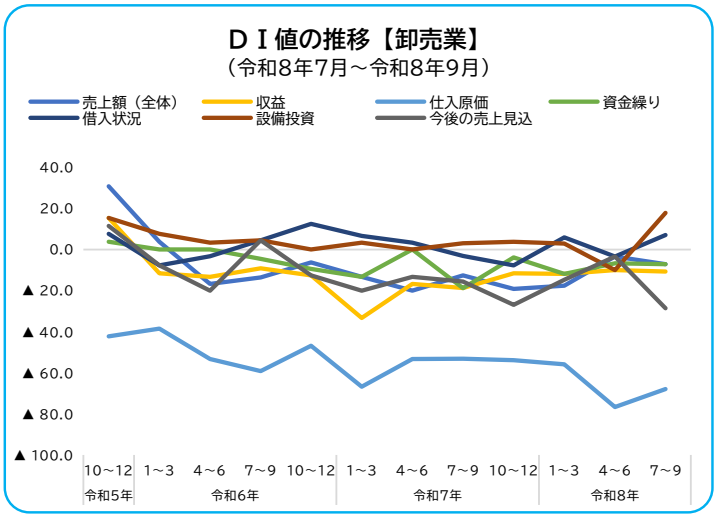
建設業のDI値は、仕入原価▲60.0ポイント（前年同期比▲13.1ポイント）、売上額▲37.5ポイント（前年同期比▲9.4ポイント）、収益▲40.0ポイント（前年同期比▲21.2ポイント）とマイナス幅が拡大した。依然として建設資材等の仕入原価の高騰が経費面に影響し、資金繰り▲20.0ポイント（前年同期比▲4.4ポイント）や借入状況▲10.0ポイント（前年同期比▲6.9ポイント）を圧迫している。また、現在直面している経営上の問題点では、「仕入価格の高騰」の回答が70.0%（14件）と最も多い。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	0	8	2	8	1	減少	▲ 5.3
収益	増加	0	5	2	11	1	減少	▲ 21.1
仕入原価	低下	0	1	2	11	5	上昇	▲ 52.6
資金繰り	好転	0	0	13	5	1	悪化	▲ 18.4
借入状況	減少	0	1	15	2	1	増加	▲ 7.9
設備投資	増加	0	0	17	2	0	減少	▲ 5.3
今後の売上見込	増加	0	4	5	8	2	減少	▲ 21.1



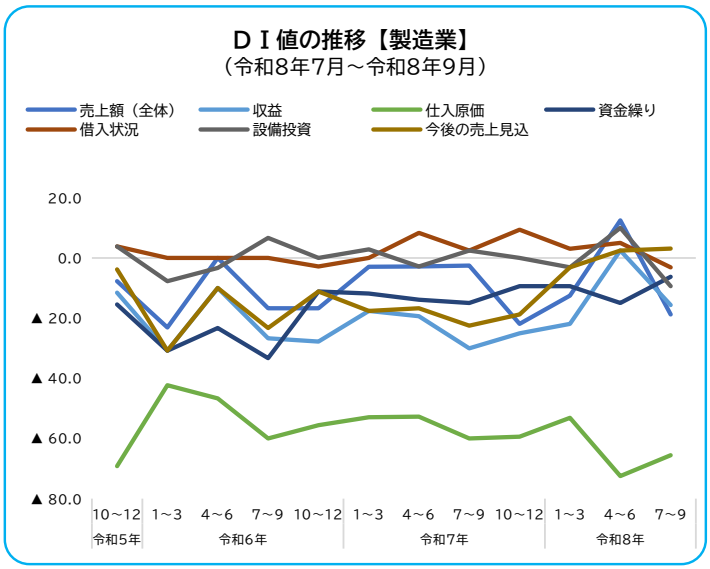
小売業のDI値は、売上額▲5.3ポイント（前年同期比+11.4ポイント）、収益▲21.1ポイント（前年同期比+2.7ポイント）とマイナス幅が縮小した。一方で、仕入原価▲52.6ポイント（前年同期比▲12.1ポイント）、資金繰り▲18.4ポイント（前年同期比▲6.5ポイント）とマイナス幅が拡大した。また、設備投資▲5.3ポイント（前年同期比▲17.2ポイント）とプラス域からマイナス域に転じた。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」の回答が68.4%（13件）と最も多い。

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	2	2	4	4	2	減少	▲ 7.1
市内売上	増加	2	2	4	5	1	減少	▲ 3.6
市外売上	増加	0	3	6	3	2	減少	▲ 14.3
収益	増加	0	4	5	3	2	減少	▲ 10.7
仕入原価	低下	0	0	0	9	5	上昇	▲ 67.9
資金繰り	好転	1	1	8	3	1	悪化	▲ 7.1
借入状況	減少	0	2	12	0	0	増加	7.1
設備投資	増加	2	2	9	1	0	減少	17.9
今後の売上見込	増加	0	0	7	6	1	減少	▲ 28.6



卸売業のDI値は、売上額▲7.1ポイント（前年同期比+5.4ポイント）、収益▲10.7ポイント（前年同期比+8.1ポイント）とマイナス幅が縮小した。また、資金繰り▲7.1ポイント（前年同期比+11.7ポイント）、借入状況7.1ポイント（前年同期比+10.2ポイント）、設備投資17.9（前年同期比+14.8ポイント）とマイナス幅が大幅に縮小し、借入状況と設備投資は、いずれもマイナス域からプラス域に転じた。また、現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」の回答が85.7%（12件）と最も多い。

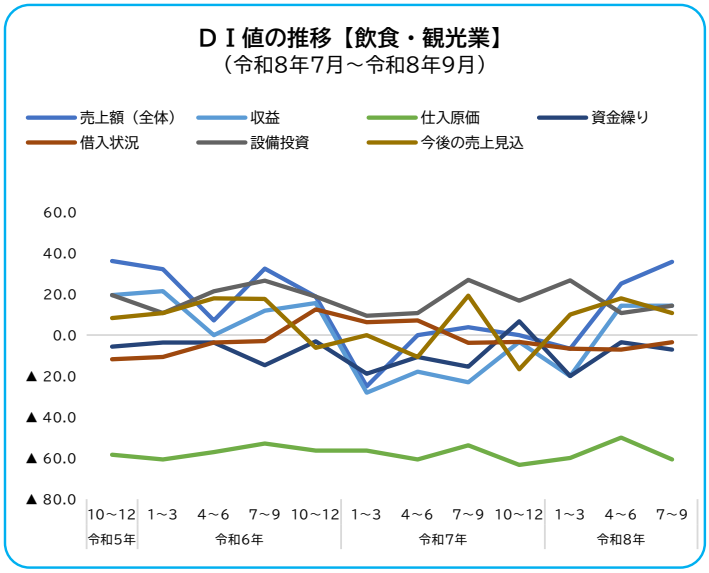
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	4	5	4	3	減少	▲ 18.8
市内売上	増加	0	3	6	5	2	減少	▲ 18.8
市外売上	増加	0	3	9	1	1	減少	0.0
海外売上	増加	1	1	1	0	0	減少	50.0
収益	増加	0	4	5	5	2	減少	▲ 15.6
仕入原価	低下	0	0	0	11	5	上昇	▲ 65.6
資金繰り	好転	0	1	12	3	0	悪化	▲ 6.3
借入状況	減少	0	1	13	2	0	増加	▲ 3.1
設備投資	増加	0	0	14	1	1	減少	▲ 9.4
今後の売上見込	増加	0	6	5	5	0	減少	3.1



＊市外売上なし2件、海外売上なし13件

製造業のDI値は、売上額18.8ポイント（前年同期比▲16.3ポイント）、仕入原価▲65.6ポイント（前年同期比▲5.6ポイント）とマイナス幅が拡大、設備投資▲9.4ポイント（前年同期比▲11.9ポイント）とプラス域からマイナス域に転じた。仕入原価▲65.6ポイント（前年同期比▲5.6ポイント）と依然として高止まりであるが、収益は▲15.6ポイント（前年同期比+14.4ポイント）とマイナス幅が縮小した。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」の回答が81.3%（13件）と最も多い。

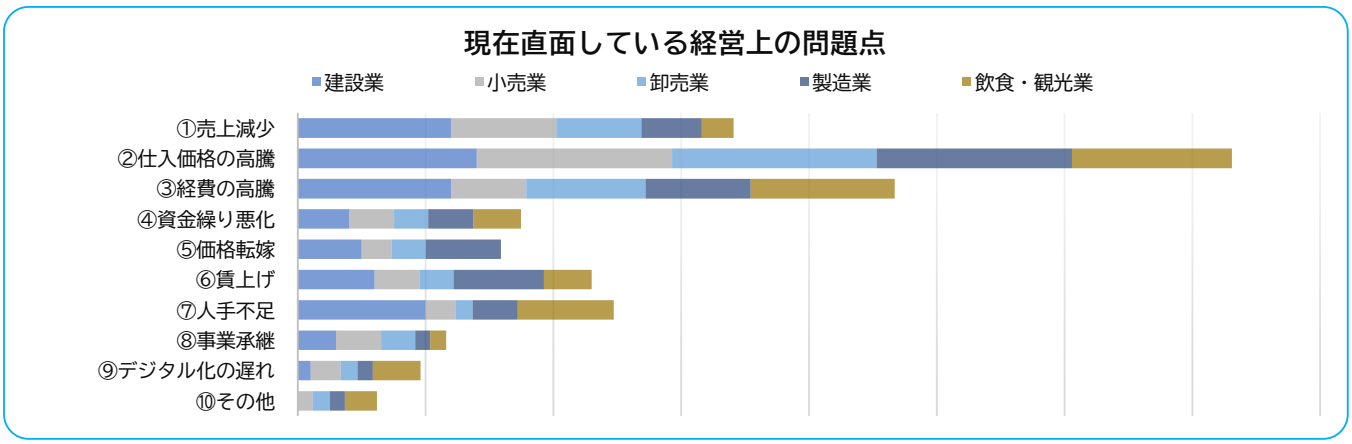
飲食･観光業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	9	3	1	0	減少	35.7
地元売上	増加	0	1	9	3	1	減少	▲ 14.3
日本人観光客売上	増加	0	6	5	2	1	減少	7.1
インバウンド売上	増加	2	8	3	1	0	減少	39.3
収益	増加	0	7	4	3	0	減少	14.3
仕入原価	低下	0	0	1	9	4	上昇	▲ 60.7
資金繰り	好転	0	1	11	1	1	悪化	▲ 7.1
借入状況	減少	0	1	11	2	0	増加	▲ 3.6
設備投資	増加	0	4	10	0	0	減少	14.3
今後の売上見込	増加	0	6	5	3	0	減少	10.7



飲食・観光業のDI値は、売上額（全体）35.7ポイント（前年同期比+31.9ポイント）、収益14.3ポイント（前年同期比+37.4ポイント）とプラス幅を大幅に拡大した。また、資金繰り▲7.1ポイント（前年同期比+8.3ポイント）、借入状況▲3.6ポイント（前年同期比+0.2ポイント）とマイナス域ではあるものの、マイナス幅を縮小した。一方で、仕入原価▲60.7ポイント（前年同期比▲6.9ポイント）と高止まりとなっており、現在直面している経営上の問題点でも「仕入価格の高騰」の回答が71.4%（10件）と最も多い。

問２　現在直面している経営上の問題点についてお答えください。（複数選択可）

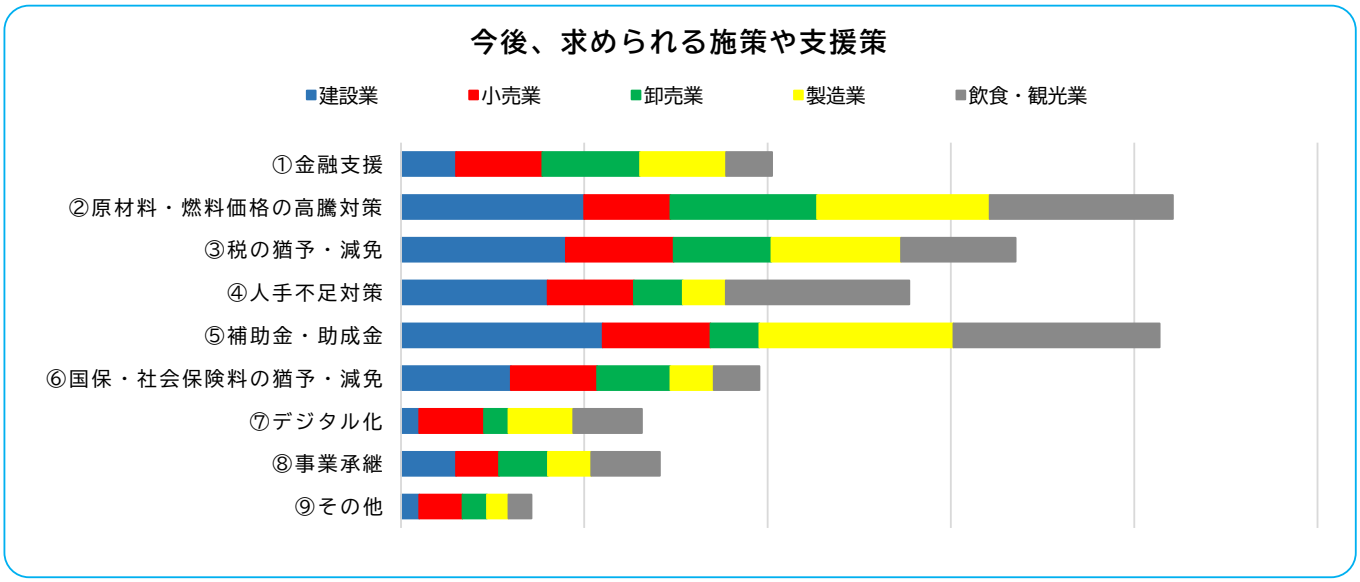
	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食･観光業	合計
①売上減少	12	7	5	4	2	30
②仕入価格の高騰	14	13	12	13	10	62
③経費の高騰	12	5	7	7	9	40
④資金繰り悪化	4	3	2	3	3	15
⑤価格転嫁	5	2	2	5	0	14
⑥賃上げ	6	3	2	6	3	20
⑦人手不足	10	2	1	3	6	22
⑧事業承継	3	3	2	1	1	10
⑨デジタル化の遅れ	1	2	1	1	3	8
⑩その他	0	1	1	1	2	5



【その他】
《小売業》　問屋廃業あり
《卸売業》　閉業
《製造業》　ガソリン代高騰
《飲食・観光業》　観光業の全体的な人手不足、付加価値の高い商品・サービスの開発

問３　今後、求められる施策や支援策について教えてください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食･観光業	合計
①金融支援	3	4	4	4	2	17
②原材料・燃料価格の高騰対策	10	4	6	8	8	36
③税の猶予・減免	9	5	4	6	5	29
④人手不足対策	8	4	2	2	8	24
⑤補助金・助成金	11	5	2	9	9	36
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	6	4	3	2	2	17
⑦デジタル化	1	3	1	3	3	11
⑧事業承継	3	2	2	2	3	12
⑨その他	1	2	1	1	1	6



【その他】
《建設業》　工事金額（労務、材料、経費）アップ
《小売業》　プレミアム商品券の発行、レジの情報がほしい
《卸売業》　消費税廃止しかない、出生数を向上できるような対策
《製造業》　2年間の食品消費税減税は止めるべき。手間多く益なし。減税しても原材料や経費高騰で物価は上昇する。
《飲食・観光業》　投資（融資ではなく）

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。